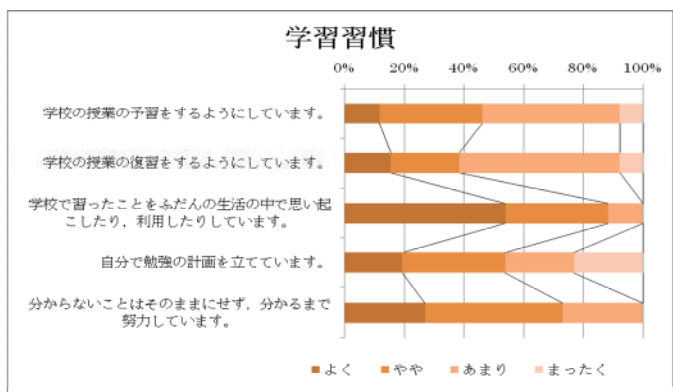


# 授業改善シート〔質問紙調査〕

校番(62)番 福山市立大谷台小学校

## 1 生活・学習

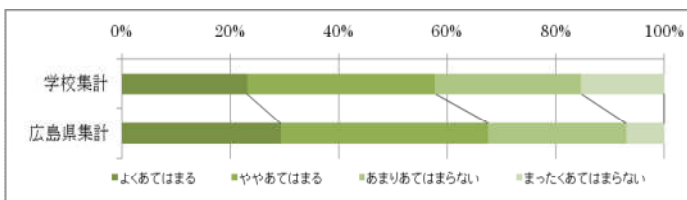


改善したい点(「基礎・基本」)	今後の具体的な取組みの内容
<p>テレビやゲームの視聴時間が、1日、2時間以上の児童の割合は50%である。その中で、4時間以上の児童の割合は、7.7%を占める。</p> <p>平日に、家庭学習を1時間以上している児童の割合は、42.3%と低い。</p>	<p>・テレビやゲームの視聴時間について、家庭で見守ってもらうように、学級懇談会や通信などで呼びかけていく。</p> <p>・家庭での学習時間を固定化するように指導し、保護者と連携していく。早く宿題ができる児童については、自学に取り組むように指導する。</p>

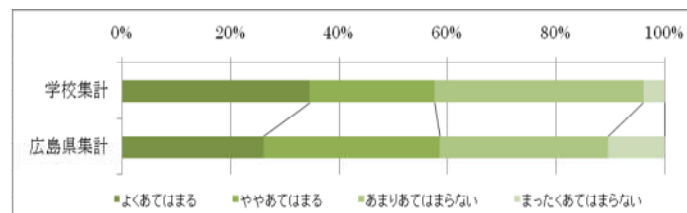
来年度の目標値	・平日に、家庭学習の時間が1時間以上の児童の割合を50%以上にする。
---------	------------------------------------

## 2 教科学習への意識

国語の授業では、文章を読んだり書いたりするとき、または、話したり聞いたりするとき、「だれが」「いつ」「どこで」「何を」「なぜ」「どのように」について注意しています。



算数の授業では、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明しています。



	児童の回答と学校の指導についての課題(「基礎・基本」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	<p>授業で伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いている児童の割合は、53.8%と低い。</p> <p>昨年度は、「誰が」「何を」を意識して話したり書いたりする児童の割合が少なかったが、今年度は、文章を読んだり書いたりするとき、5W1Hに注意している児童の割合が57.7%と低くなっている。教科テストでは、主語・述語の関係をとらえる問題の正答率が低かった。</p>	<p>・学習事項を生かして文章を書かせたり、テーマを決めて日記や作文を書かせたりして、組み立てを考えて文章を書く機会を増やす。</p> <p>・国語の授業で、常に、「誰が」「何を」という切り返しをしながら進めていき、文章を読んだり書いたりするとき、5W1Hを意識させる。</p>
算数	<p>昨年度の課題に引き続き、理由をあげて自分の考え方やとき方を説明している児童の割合は、57.7%と、算数の項目の中では低い。</p> <p>2つの数や量の関係を調べる時、まず、2つの数や量を順序よく表に表していると回答した児童は、61.5%で、あまり定着していない。</p>	<p>・自分の考えをノートに書かせたり、ペアやグループで交流をさせたりする場面を増やす。図や表などを使って、聞いている人に分かりやすく話すように指導する。</p> <p>・数量関係を調べる時には、正しいデータを把握するために、表に記入し分析することを繰り返し指導する。</p>

来年度の目標値	<p>・5W1Hに注意して文章を読んだり書いたりする児童の割合を60%以上にする。</p> <p>・理由を挙げて自分の考えを説明できる児童の割合を60%以上にする。</p>
---------	--

# 授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(62)番 福山市立 大谷台小学校

	～ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	・ Plan		・ Do			・ Check		・ Action			
	結果の分析・H2 2の改善計画の見直し H2 3の改善計画の実施					検証		次年度の計画			
全校・全教科	校内一斉テストの実施・分析・指導方法の工夫改善(主語 述語の問題を追加・数学的な考え方の問題)										
	話し言葉・文章表現についての日常的な指導・辞典の活用・言語技術を取り入れた発表										
	全国 CRT テスト(国語・算数)										
国語	単元教材による段落・要点・要旨の指導										
	読解指導・短文作り 作文指導・漢字指導										
算数	筋道立てた説明の仕方・算数的活動・情報選択・評価問題・家庭学習の充実										
生活・学習	2学期始業チェック 学級懇談会				ふり返り		3学期始業チェック 学級懇談会		ふり返り		
	授業・児童集会・モーニングタイムなどの中で適宜指導										
	家庭学習の取り組み(予習や復習の声かけ・自学) 家庭との連携										